

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成30年度 第3回理事会議事録

日時:平成30年9月18日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)18名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、片桐晃、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美
福田悦男、直井秀幸、新村雅司、石渡光平、日向野信行、渡辺諭、益子基久
前原延之、小林史雄(ミニ連代理)、佐々木清美、山田将樹

欠席:(理事)2名 佐藤智信、古谷常夫
(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長:新理事となって初めての理事会である。審議等よろしく願います。

2 報告事項

(1)国体関東ブロック予選報告

少女が東京、成男が千葉に一回戦で敗退した。成女は二回戦で東京に負け本大会出場を逃した。
成男は、実業団とどう戦うかが課題である。少年種別は今後U16をどうするかが課題である。

(2)各種大会報告

ア 高体連:一年生大会で、男子宇工、女子白鷗足利が優勝した。

10~11月に行われるウインターカップ県予選はでウインターカップライブ配信がある。

イ ミニ連:関東スポーツ少年団交流大会で 女子宮の原が優勝した。

(3)その他報告

ア 強化部より

- U15の強化が9/9から始まった。高体連を中心にスタッフを決め栃木国体まで継続していく。
- 月1回の予定で強化練習会を実施していく。
- 北関東3県で強化大会を企画しており、今年は茨城県で行われる。
- アドバイザリー事業も活用していく。
- 9/1にU13のセレクションがクラブ・ユース・中体連から候補選手を集めて実施した。
中にはU12のセレクトメンバーも入っている。
- 国体に向け強化していき12名に絞っていく。

イ カテゴリー部会報告U18

U15部会:○ U15リーグ戦をプレ大会として実施する。

- 参加費を会場使用費・審判謝金等を試算して3万円を予定していたが2万円とした。
- 来年度は、前期・後期に分け開催したい。
- 前期には中体連の参加は難しい、後期には参加する方向で進めたい。
- 2020年度のJrウインターカップ開催に向け整備していきたい。
- 部会としては、Jrウインターカップに向けてU15の競技力の底上げを図る方策を検討中である。

U18部会:○ ウインターカップの出場数が60チームになり、インターハイの出場数が50くらいに縮小される。

ウ 県北体育館破損事故報告について

- 8/25に実施したU12強化練習会において、ゴールを格納する際に入り口横の壁の飾り枠を破損した。
- 9/10に県北体育館で現場を確認し謝罪した。
- 修理費については、県協会負担で了解を得た。
- 今後、各連盟ともゴールのセッティング及び格納の際には十分注意してほしい。

エ D-fund説明会報告

○ 9/6にJBAより担当(吉田・中村・藤野)3名に来ていただいてD-fundの勉強会を実施した。

内容については、各連盟財務担当に確認してほしい。

- 各財務担当には10/6必着で次年度の事業予算書の提出をお願いしてある。
- 提出されたものをまとめてD-fundの申請書作り、JBA担当に相談しながら申請していく。
- JBAのガバナンスの強化推進により、口座一括管理システムにするよう指示があり、来年度より補助金(運営費)として各連盟通帳に入金していたものの、その取扱いが一部変更になる。
詳しくは、後の理事会で報告していく。

オ 賛助会の中間報告

- 86名に方々に入会していただき約60万円の協賛を得ている。
- 賛助会の案内をホームページに載せていないが、これから載せることにする。

カ 新年会の会場について

- 年間行事予定どおり1/19(土)に開催し、会場は、昨年度同様アパホテルに予約した。

キ 関東協会専務理事会議報告

(ア) 2018.7.7開催(関プロ組合せ)

- 2019(千葉県開催)より少年種別がU16となりストレート種別は廃止される。

- 少年種別は敗者復活戦方式、成年種別は従来どおりのトーナメント方式で3位決定戦を行う。

(イ) 2018.8.18回債(関プロ国体予選)関東協会会議

- ① 2018年度の関プロ少年種別のシードは1~4まで決める。

- ② 2020年度関プロ神奈川県開催について
- 小田原市開催を予定しているが現時点で宿舍が確保されていない。
※2020オリパラの警察警備関係で抑えられているため。
 - 確保されずに開催できないときには、群馬県で7月開催となる。

ク BREX関係報告

- ① BリーグU15チャンピオンシップ2018(8/15~17)にユースチームが優勝した。
ベスト5に3名、MVP賞1名、9/18MIP賞1名受賞した。
- ② プレシーズンマッチを足利市(9/1・2)で開催し、B2群馬、B1大阪と対戦し競り勝った。
- ③ Bリーグアーリーカップ2018関東を開催した。決勝で東京に負け準優勝となった。
- ④ ミニの大会やBREXカップで記念グッズの販売をすることになった。協会に還元できればよい。

ケ 県体協スポーツ顕彰候補者の推薦について(事務局)

- 各連盟で推薦される方があれば事務局まで連絡してほしい。

コ その他

(ア) 3×3委員会より

- 9/30にトレセンでU15・U18の大会がある。今回は中体連・高体連が主体で運営する。
今後は各カテゴリーが運営の主になっていく。

(イ) 審判委員会より

- B級審査会において社会人連1名・高体連2名が推薦を受けた。
- S級審査では、本県から3名が最終審査会に残っている。

3 定足数について

理事総数20名、内出席者18名で、本会議は成立する。

4 議事録署名人:学識 新村雅司 氏 と 車椅子連 佐々木清美 氏 にお願ひする。

5 審議事項(議長:会長)

(1) 足利市協会加盟について(専務理事)

- 足利市バスケットボール協会(会長:井上隆之)より加盟申請があった。
- 足利市体育協会の専門部であるが、協会として活動している。問題はないので承認願う。
—承認される—

(2) 理事の辞任について(専務理事)

- 市協会選出の理事(小山市協会)が辞任を申し出たので解任について承認願う。
—承認される—

● 後任理事については、市協会のローテーションにより選出されているので小山市から推薦。

(3) 第94回天皇杯・第85回皇后杯2次ラウンドの運営について(専務理事)

- 昨年度同様にBREXと競技運営以外の部分について事業委託契約をして運営したい。
—承認される—

(4) 協会優秀選手表彰の日程について(高体連・中体連)

- 高体連は11/3那須清峰高校で、中体連は11/17栃木市体で行いたい。
—承認される—

(5) 栃バ協旅費規定について(財務部)

- 今まで旅費については旧協会の規定に従って支給していたので、法人としての旅費規定を制定したい。(資料参照)
—承認される—

(6) BREXホームゲーム団体割引チケット申し込み業務について(事務局)

- JBAに登録しているチームに対して、BREXホームゲーム団体割引チケット申し込みを事務局経由で申し込みことによってBREXからの手数料を協会の収入としたい。審議願う。
—承認される—

(7) 福井国体視察について(強化部)

- 福井国体の視察を、高体連2名、副会長1名でお願いしたい。
—承認される—

(8) Bリーグのゲームディレクター及びリーグ支援委員会委員について(事業部)

- Bリーグ2018-19シーズンのゲームディレクターを4名申請したい。
- また、リーグ支援委員会委員を承認願う。(名簿参照)
—承認される—

(9) その他

- 宇都宮市協会: ○市協会で所管運営しているWリーグの収益分配金について検討してほしい。
○市の協会としては事業費及び国体開催に向けて資金が欲しい。
●Wリーグの開催は女子バスケットボールの育成強化において重要である。
●県の事業として主管し、関係市協会に所管できるよう検討する。
—今後検討していくことで承認される—

6 その他

- (1) 天皇杯・皇后杯2次ラウンド組合せについて(資料参照)
- (2) 協会だより3号(上半期)を発行した。(資料参照)

7 あいさつ

上野副会長: 新たなメンバーで長時間にわたり慎重審議ありがとうございました。